

1. ストライキ関連情報

①ストライキへの対処が厳格化

4/1、労働省の Vong Sauth 氏は、「縫製業の労働者がストライキの最中に道路封鎖等を行った場合の対処を厳格化させていく方針だ」と述べた。これはフン・セン首相の指令に応えたもので、さらに Sauth 氏は、「ストライキを起こす者達は、着席し対話による平和的解決策を模索する事ができれば最良の解決策になる。近頃、労働者は法律に従っていない。もし私たちが彼らにストライキ等を許すのであれば、私たちの社会に法が存在しない事になる。だからこそ、私たちは首相の指令に応える必要がある」と付け加えた。これに対して予告なしで工場を閉鎖した Kandal 州の Yung Wah 社で、未払い賃金を求め道路を封鎖するストライキを続けている労働者たちは、「政府の役人は私たちがこの暑い太陽の下で道路封鎖のストライキをしたいと思っている。でも、私たちには世間に訴え、解決策を模索する為の選択肢がこれしかありません。もし道路を封鎖しなければ、私たちは私たちの給与を受け取ることはないでしょう」と、話している。

②Su Tong Fang garment 社で 500 人の労働者がスト

4/03、Su Tong Fang garment 社では 500 人の労働者が、最低賃金の上昇を 1ヶ月前倒しする事を求め、ストライキが発生した。組合のひとつ Cambodian Rights Workers Union Federation の Chea Sophat 代表は、「労働者達は工場の前でストライキを行い、工場側に(諸手当の前倒しに当たる)祝日手当、年功手当等の諸手当を求めた」と話している。しかしながら工場側はそれを却下。Sophat 代表は「工場側からは最低賃金が上がるのは 5 月からであり、政府からの指示に従うべきである、と回答があった」と述べた。労働者の Sreng Sok Kim 氏は、「我々の要求が認められるまでストライキは続くだろう」と話している。一方で、社会問題省の Vong Sovann 氏は「このストライキは大きな問題にならないと思います。クメール正月前にこのような問題が起こることは毎年良くありますから」と話した。

③野党からの最低賃金の草案は却下

4/04、与党は野党の最低賃金の草案(公務員は\$250/月、縫製業は\$150/月)を棄却した。この決定は、フン・セン首相が経済成長率に伴う更なる給与の上昇についてスピーチで触れた翌日に下された。与党の Sman Teath 氏は「野党の草案は、カンボジアの現実から乖離している。カンボジアは自由市場政権であり、更なる給与上昇はどうかと思います」と話した。続けて Teath 氏は「公務員も縫製工場の労働者も、経験、スキルによって給与が支払われるべきで」と述べた。野党 Sam Rainsy 党の Son Chhay 議員は、この決断に対して野党に対する“差別”だと述べ、カンボジア人民党の政治的姿勢を批判した。また加えて Chhay 議員は「私は政策として、公務員の賃金を上げる為にお金を刷るというのは根本的な間違いである、と説明をしました。この国では少なくとも 13 億ドルから 15 億ドルが毎年行方不明になっているのですから、政府が国の歳入をしっかりと集めれば、公務員の賃上げは可能である。公務員の賃金が上がれば、労働者の賃金もそれにつれて自然に上がると思っている」とも意見を述べた。

2. 最近の外資進出状況など

- ・タイのアユタヤ銀行は、自動車ローンなどリテール部門強化のため、ラオス、カンボジア、ミャンマーに合弁会社を設立すると発表。カンボジアでは、現在、提携先を探しており、来年には詳細を公表するという。
- ・4/11、タイの大手商社 DKSH(タイランド)は、米製菓大手ファイザーとカンボジア事業で提携したと発表。同国における販売、物流、市場開拓などを DKSH が担当する。
- ・4/22、ベトナムの乳業大手ビナミルクは、同社がカンボジアで工場の建設許可を取得したと明らかにした。ビナミルクの会長は「ビナミルクはカンボジアに毎年、4000 万～5000 万ドル相当の乳製品を輸出しており、工場操業には十分な量だ」と語った。

3. 出生率が上昇、新生児死亡率が低下

4/02、保健省はカンボジア人女性の出生率が上昇していると発表した。2011 年各地方の医療センターにて出産した女性が 61%だったのに対し、12 年は 66%となった。保健省の Mam Bunheng 氏は「この上昇率は控えめではあるが、それは乳児と妊婦の死亡率減少に繋がると思います。2013 年は、助産婦の知識、技術向上へのトレーニングに集中し、加えて緊急搬送、産児制限を促進、はしか等のワクチン接種、乳児、母親への破傷風ワクチン接種の向上を目指す」とも話した。UNICEF によると、2005 年には 1,000 人当たり 95 人の新生児死亡が発生していたが、2010 年には 1,000 人当たり 45 人の死亡にまで低下してきている。

4. 鳥インフルエンザで 2 人目の生存者

4/09、プノンペン Kantha Bopha 病院で重体となっていた Kompot 出身の 5 歳の男の子が、危機的状況から立ち直ったと医師団が語った。Kantha Bopha 病院の医師である Beat Richner さんは、フェイスブックに「当初は昏睡状態で、肺炎にも犯されていたが、この子はもう大丈夫。少しずつ食べれるようになってきた」と書き込みを行った。この少年は 3 月 27 日に高熱と呼吸困難に陥り、Kompot 州の病院からプノンペンへは、その 4 日後に搬送された。この 5 歳の少年は、今年で 10 人目(内子どもが 9 人)の鳥インフルエンザ感染者であった。

5. 国際裁判所でプレアビヒアの審議が開始される

4/15、タイとカンボジアで国境紛争中のプレアビヒア寺院問題の意見陳述が、国際司法裁判所(ICJ、オランダ・ハーグ)で始まった。ICJは1962年、プレアビヒア寺院がカンボジア領に帰属するとの裁定を下したが、タイは周辺の4.6平方キロメートルの土地についてタイ領だと主張し続けている。4/10、外務省の Hor Namhong 氏と10人の法律専門家は、来週4日間かけて行われるプレアビヒア紛争の聴取の為、オランダのハーグにある国際司法裁判所へ向かった。「国際司法裁判所が私たちの意見を理解してくれる事を望みます。なぜなら、この法廷は、とても強い注目を浴びているからです。法律に基づき、私は同法廷で1962年に審議され、カンボジア領と下された判決について主張したい。私たちはフランス、イギリス、アメリカの法律専門家も付いており、彼らとはフランスで合流します」と Namhong 氏は空港で語った。加えて「」とも述べた。プレアビヒア寺院は2008年に世界遺産にも登録されたが、遺跡の周辺4.6平方キロのエリアは国境線未画定となっており、散発的な戦闘も発生していた。また、判決は10月にも示されると見通しである。



6. 北朝鮮のミサイル問題:フンセン首相が、韓国で働く25,000人のカンボジア人に冷静な対応を求める

4/12、この数週間韓国、北朝鮮間の緊張感が一気に高まる中、フン・セン首相は、韓国に在住及び働いているカンボジア人やその家族、友人に対して、「政府の見解を理解し冷静に対応して欲しい」、と平静を保つよう呼びかけた。現在、25,000人のカンボジア人が韓国内で働いていると言われている。

北朝鮮国境近くの農園で働くカンボジア人の Ly Ratha さん(28歳)は、「他国から来ている労働者には、彼らの国々の大使館が、戦争に発展した場合の避難計画等を発表していますが、カンボジア大使館からは何の通達もありません。カンボジアの役所からの情報が不足しており、どのように対処すべきか困惑している」、と話している。またソウルで働く Srey Mom さん(27歳)は「家族、親族がいつも電話をかけてきて、戦争を心配している。しかし街中の誰も戦争が始まるという恐怖を感じていないように見受けられる。だから私も何も心配していません」と述べた。カンボジア政府もちょうど退避計画を実施している最中であり、労働省の Heng Sour 氏は、「釜山への一時的退避の仕方を発信していく」と述べた。

7. プノンペン水道公社より、初の株式配当

4/11、プノンペン水道公社の株主は、わずかながら初となる配当を受け取ることになる。ただし、一株あたり 27.7 リエルの配当に対して、投資家からは不満の声があがっている。エージェントの ACLEDA Registrar Transfer の Lim さんは「お客様から低い配当への不満の電話が入っています。しかし、カンボジアのこの株式市場と言う新しい試みを、経験を通じて学んで行くことでしょうし、今後多くの企業が上場した際、より利益を得る経験になるでしょう」と話した。配当の内訳は85%保有する経済金融省へ、残りの15%を他の1,500の株主への配当へとあてられた。30株保有する Sok Lak さんは、「配当金830リエル(約20円)を受け取る事ができるが、受取にいく為の交通費の方が高いため、受け取りに行かない」、と話している。一方、プノンペン水道公社の Sim Sitha 代表は「この配当は、我々の株主に対し良い出来事です。我々は利益を得て、そしてそれを株主に還元できるのですから」と話した。

8. 税収入が22.9%上昇

4/12、政府は、「カンボジアの税収入が昨年の同時期に比べて22.9%上昇した。これは新たなビジネスの参入、投資の加速が影響したものである」、と述べた。しかしながら野党は本来目指すべき数字よりも少ない」、と与党を非難した。税務部からのデータによると、所得税についての歳入は18.51%の上昇となり、企業課税は24.51%、付加価値税(VAT)に関しては34.27%の上昇であった。

Keat Chhon 財務金融大臣は、「歳入の上昇は、政府の税回収の努力と、新しいビジネスの増加を示している」と話した。また彼はホテル、ゲストハウス、カラオケ、クラブ、他のエンターテインメント施設からの税収についても、熱心に推進している。しかしながら、野党の Sam Rainsy 党 Son Chhay 議員は、「我々は4億ドルから5億ドルの税収を見逃している。それらのお金はどこへ行ったのでしょうか？これぞ、腐敗、です。この歳入上昇は至って普通の事です。経済が成長すれば、税収も増えます。もし税務官が脱税を試みる大物実業家達と共に汚職をしなければ、国は 100%税を受け取れる事ができるのです」と話した。

アジア開発銀行は 2013 年のカンボジアの成長率を 7%から 7.2%に修正し、2014 年に関しては 7.5%とした。

以上